

飲水思源

町長 松岡市郎

羽衣の滝を思う

羽衣の滝への園路への土砂崩落から3年目を迎えた。小職の力不足からまだ開通に至らず、申し訳ない気持ちでいっぱいである。また年々衰退している天人峡温泉の復活に向けて厳しい意見もちょうだいしている。「知恵」と「行動」が求められている。

昨年大雪山国立公園指定から80周年と開拓120年の節目もあって、本町の町史編集員である西原義弘氏と岩見沢市にお住まいの清水敏一氏が、大雪山の知られざる感動を膨大な資料からまとめあげ、「神々が遊ぶ庭を読む大雪山」(新評論)が出版された。過日ひがしかわ東京会が開かれた折郷土の誇りである大雪山について知ろう、と講演会が企画された。小職にとっても新たな感動と刺激を得た。

その一つに李白と大町桂月との関係がある。李白といえば中国・唐の時代の有名な詩人。大町桂月は、明治・大正期の日本の有名な詩人である。1921(大正10)年ごろ、羽衣の滝を訪れ漢詩を作っている。桂月が詠(よ)んだ漢詩は次のようなものである。羽衣瀧(桂月)

懸崖缺處挂飛泉(懸崖の欠くところ飛泉を掛く)

相看唯誦青蓮句(相見てただ青蓮の句を誦う)疑是銀河落九天(疑うらくは是銀河の九天より落つるか)

桂月は李白(青蓮)を尊敬し、李白が当時、中国江西省・廬山(ろざん)の瀑布(ばくふ)を詠んだ心境を思い起こし、「羽衣瀧」を詠んでいるという。廬山は現在、世界遺産に登録されている。

羽衣の滝への園路は、今年暫定的であってもいいから利用できるように、と強く要望している。滝を展望できる場所につながる新しい橋と園路は、来年度完成に向けて整備が進められることになっている。その一角に、李白と桂月の漢詩を何らかの形で掲示できれば、と考えている。

漢詩を見比べてみると、遠い唐の時代、そして桂月の時代がよみがえって来るようである。桂月の漢詩から約1世紀が経った今、その滝の姿は当時と変わらぬ銀河の天空から落ちてきている。大雪山は、知られざる魅力を今もなおたたえている。名勝・羽衣の滝を文学的な視点から捉え、観光振興を図ってみたいものである。

北海道体験ファームまるわかりガイド

片岡れいこ/著 メイツ出版/刊



道民にとって身近なようで意外と知らないのが牧場のこと。自然のにおいや音、やさしい風が満ちている牧場で寝泊まりしながら、動物の餌やり、牛の乳搾り、野菜の収穫、バター・チーズ作り、アイスクリーム作りなど、見て、知って、触れて、作って、食べて牧場体験してみませんか。北海道内各エリアの牧場の特徴や場所、体験できることなど、大自然を満喫できる牧場ステイの案内本。

ホビット 決戦のゆくえ (DVD)

発売元:ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント



13人のドワーフたちは、ついに竜に奪われた故郷の莫大な財宝を取り戻した。だがそれと引き換えに、恐るべき竜・スマウグを湖の町に解き放ってしまい、ドワーフ族、エルフ族、ニンゲンが三つ巴の戦いに。そこにドワーフに恨みを持つオーク族とアクマイヌが迫り、5つの軍勢はついに全面戦争に突入する。ホビット3部作、ここに決着。(14分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245



★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

レジェンド! 葛西紀明選手と下川ジャンプ少年団ものがたり

城島 充/著 講談社/刊



2014(平成26)年のロシア・ソチ五輪で2個のメダルを獲得し、今やスキー・ジャンプ競技の伝説ともいわれるようになっていく葛西紀明選手。傷だらけのメダルに込めた思いとは? お年玉がもらえないほど貧しかった少年時代って? 「小さな葛西たち」の強さの秘密は? 葛西選手の人生と、彼を育てた下川ジャンプ少年団の子もたちを描いた一冊。夢に向かって頑張ることの大切さが伝わります。